

近畿大阪メディカル 心理検査レポート翻訳サービス 利用規約

2023年 5月18日改定

第1条 定義

この規約において、以下の語句はそれぞれ次のことを意味します。

- ・ 「当サービス」：近畿大阪メディカルが行う、ご利用者から寄せられた心理検査レポートを英語に翻訳するサービス。
- ・ 「ご利用者」：事業者と契約のうえ、当サービスを利用される方。
- ・ 「事業者」：当サービスを行う、近畿大阪メディカル。

第2条 目的

ご利用者は、あらかじめこの規約を読み、その内容について事前に同意のうえ、当サービスをご利用になるものとします。

第3条 契約

- ・ ご利用者は、この規約に同意のうえ、「近畿大阪メディカル」ホームページ上のお申込みフォームに必要事項を記入し、当サービスを申し込むものとします。
- ・ ご利用者は、当サービスの料金を事業者に先払いするものとします。決済は、事業者が保有する銀行口座への振り込みによるものとし、振込手数料をご利用者が負担するものとします。
- ・ 事業者は、ご利用者からの入金後の概ね1か月間で、当サービスを完了するものとします。この期間を特別に短縮する旨、両者が合意した際は、それに従います。
- ・ ご利用者が、利用期間中に住所・メールアドレス等の連絡先を変更したときは、直ちに事業者へその旨を通知するものとします。
- ・ 第4条 知的財産権の取り扱い
- ・ 事業者がご利用者に提供する英語翻訳文の著作権は、事業者に帰属するものとします。
- ・ ご利用者は、事業者より提供を受けた英語翻訳文を事業者の許可なく公開・転載したり、商用利用したりすることはできません。
- ・ 第5条 免責事項
- ・ 事業者は、当サービスによって提供される英語翻訳文が、ご利用者が想定する目的にとって完全に正確・有効であることを保証いたしません。
- ・ 当サービスが提供する英語翻訳文をご利用者が使用した結果、いかなるトラブル等が発生しても、事業者はその責任を負わないものとします。ただし、事業者に故意又は重過失がある場合はこの限りではありません。
- ・ 天災等のやむを得ない事情によって当サービスの遂行が不可能となった結果、ご利用者に対して当サービスの提供が遅延したときは、事業者はその責任を負わないものとします。
- ・ ご利用者がこの利用規約に違反した結果生じたいかなる損害についても、事業者は責任を負わないも

のとします。

第6条 個人情報の取り扱い

- ・ 事業者は、ご利用者から提供を受けた個人情報を、法に定める善良な管理者の注意をもって取り扱います。ご利用者の許可なく第三者に開示することはありません。また、当サービス以外の目的で利用することはありません。

第7条 紛争時の解決方法

- ・ 当サービスについて、ご利用者と事業者の間に紛争が生じた場合、日本国内の法律に準拠して解決するものとします。
- ・ 紛争時の管轄裁判所は、大阪地方裁判所とします。

第8条 規約の変更

事業者は、この規約を変更する際には、直ちにホームページ上に掲載し、かつ変更の時点において当サービスを事業者に依頼中のご利用者（既に事業者より当サービスの提供を受けた後の者を除く）に対してメール等で通知するものとします。

以上